

13	ガラス用フィルム	<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>種 類</th> <th>張 り 面</th> <th>性 能 値</th> </tr> <tr> <td>※ ガラス飛散防止フィルム</td> <td>第 2 種</td> <td>※ 内張り ・ 外張り</td> <td>飛散防止率 D1</td> </tr> <tr> <td>品質</td> <td colspan="3">JIS A5799Iによる</td> </tr> </table>	名 称	種 類	張 り 面	性 能 値	※ ガラス飛散防止フィルム	第 2 種	※ 内張り ・ 外張り	飛散防止率 D1	品質	JIS A5799Iによる		
	名 称	種 類	張 り 面	性 能 値										
※ ガラス飛散防止フィルム	第 2 種	※ 内張り ・ 外張り	飛散防止率 D1											
品質	JIS A5799Iによる													
14	重量シャッター	<p>種 類 ・ 一般重量シャッター ・ 屋内用 防煙シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 外壁用防火シャッター</p> <p>開閉機能 ※ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 (16.10.2)(表16.10.1)</p> <p>外部に面するシャッターの耐風圧性能による区分 (N/mm) 50 ・ 80 ・ 120 ・</p> <p>危害防止機構 設置しない箇所 図示</p> <p>・ 障害物感知装置 (自動閉鎖型)</p> <p>・ シャッターの二段降下方式</p> <p>一般重量シャッターのシャッターケース ※ 設ける ・ 設けない (16.10.2)</p>												
15	軽量シャッター	<p>開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式 (手動併用) (16.11.2)(表16.11.1)</p> <p>スラット 材質 ※ 塗装用溶融亜鉛めっき鋼板 (16.11.3)</p> <p>形状 ※ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 (16.11.4)</p> <p>ガイドレール等 ※ 鋼板製 ・ ステンレス製SUS304 (厚さ1.5mm) (表16.11.2)</p> <p>外部に面するシャッターの耐風圧性能による区分 (N/m) ・ 50 ・ 65 ・ 80 ・</p>												
16	オーバーヘッドドア	<p>(16.12.2~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>ガイドレール</th> </tr> <tr> <td>※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ</td> <td>※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式</td> <td>・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形</td> <td>・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ※ ステンレス鋼板 (SUS304)</td> </tr> </table> <p>耐風圧性能による区分 (N/mm) ・ 50 ・ 75 ・ 100</p>	セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール	※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形	・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ※ ステンレス鋼板 (SUS304)				
セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール											
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形	・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ※ ステンレス鋼板 (SUS304)											

17	1 メタルカーテンウォール	<p>設計図書による規定の他、特記なき事項は (社) 日本建築学会 JASS14 による。 (17.2.2)</p> <p>カーテンウォール材料の種類 (17.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>規 格 等</th> </tr> <tr> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による</td> </tr> </table> <p>カーテンウォール方式</p> <p>・ 方立方式</p> <p>・ バックマリオン方式 (・ 単軸2辺支持構法 ・ SSG 構法)</p> <p>・ スパンドレル方式</p> <p>・ パネル方式</p> <p>・ 小型パネル組み合わせ方式 (・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式)</p> <p>シーリング材及びガラス取付材料</p> <p>下記以外は標仕表9.6.11による (9.6.2)(17.2.2)(表9.6.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>被着体の組合せ</th> <th>記 号</th> <th>主成分による区分</th> <th>耐久性による区分</th> </tr> <tr> <td>金 属</td> <td>ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td>ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構造用ガasket ※ 適用しない (17.2.2)</p> <p>・ 適用する (施工箇所: 図示)</p> <p>断熱材 ※ 適用しない (17.2.2)</p> <p>・ 適用する (種類: 厚さ(mm): 施工箇所: 図示)</p> <p>製品の寸法許容差 ※ 標仕表17.2.11による (17.2.3)(表17.2.1)</p> <p>・ 製造所標準製作規定寸法許容差による</p> <p>アルミニウムの表面処理 (17.2.3)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>色 彩 等</th> </tr> <tr> <td>・ A-1種 ・ B-1種</td> <td>無着色</td> </tr> <tr> <td>・ A-2種 ・ B-2種</td> <td>※ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー</td> </tr> <tr> <td>・ 着色塗装</td> <td>塗装材料 () 焼付け方式 () コート () ベーク</td> </tr> </table> <p>耐風圧性能 (17.1.3)</p> <p>性能値 ※ 建築基準法施行令第7条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。</p> <p>・ 正圧 N/m²以上及び負圧 N/m²以上に対して安全であること。</p> <p>主要部材のたわみ</p> <table border="1"> <tr> <th>支点間距離(h)</th> <th>た わ み 量</th> <th>状 態</th> </tr> <tr> <td>※ 4 m 以下</td> <td>※ ± (1/150) × h かつ絶対量20mm以下</td> <td>※ 各部の破損、残留変形 有害な変形が起こらないこと</td> </tr> <tr> <td>・ 4 m を越える</td> <td>・ 支点間距離の1/200以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐震性能 (17.1.3)</p> <p>設計用震度 水平方向(K_v) ※ 1.0 ・ 垂直方向(K_v) ※ 0.5</p> <table border="1"> <tr> <th>建物の構造種別</th> <th>層間変位量 (=支点間距離)</th> <th>状 態</th> </tr> <tr> <td>鉄 骨 造</td> <td>※ ± (1/100) × h 以上</td> <td>部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td>※ ± (1/200) × h 以上</td> <td>シーリングは補修程度</td> </tr> <tr> <td>鉄骨鉄筋コンクリート造</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>気密性 ・ W-4 ・ W-5 (17.1.3)</p> <p>水密性 ・ A-3 ・ A-4 (17.1.3)</p> <p>耐火性能 ※ 適用しない ・ 適用する (時間、施工箇所: 図示)</p> <p>映像調整 ※ 行なわない ・ 行なう (建具表による)</p> <p>製造所 性能等の確認出来る資料を提出し、監督員の承認を受ける</p>	種 類	規 格 等	※ アルミニウム製	※ 標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による	被着体の組合せ	記 号	主成分による区分	耐久性による区分	金 属	ガラス			ガラス	ガラス			種 別	色 彩 等	・ A-1種 ・ B-1種	無着色	・ A-2種 ・ B-2種	※ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー	・ 着色塗装	塗装材料 () 焼付け方式 () コート () ベーク	支点間距離(h)	た わ み 量	状 態	※ 4 m 以下	※ ± (1/150) × h かつ絶対量20mm以下	※ 各部の破損、残留変形 有害な変形が起こらないこと	・ 4 m を越える	・ 支点間距離の1/200以下		建物の構造種別	層間変位量 (=支点間距離)	状 態	鉄 骨 造	※ ± (1/100) × h 以上	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない	鉄筋コンクリート造	※ ± (1/200) × h 以上	シーリングは補修程度	鉄骨鉄筋コンクリート造	・	
	種 類	規 格 等																																													
※ アルミニウム製	※ 標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による																																														
被着体の組合せ	記 号	主成分による区分	耐久性による区分																																												
金 属	ガラス																																														
ガラス	ガラス																																														
種 別	色 彩 等																																														
・ A-1種 ・ B-1種	無着色																																														
・ A-2種 ・ B-2種	※ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー																																														
・ 着色塗装	塗装材料 () 焼付け方式 () コート () ベーク																																														
支点間距離(h)	た わ み 量	状 態																																													
※ 4 m 以下	※ ± (1/150) × h かつ絶対量20mm以下	※ 各部の破損、残留変形 有害な変形が起こらないこと																																													
・ 4 m を越える	・ 支点間距離の1/200以下																																														
建物の構造種別	層間変位量 (=支点間距離)	状 態																																													
鉄 骨 造	※ ± (1/100) × h 以上	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない																																													
鉄筋コンクリート造	※ ± (1/200) × h 以上	シーリングは補修程度																																													
鉄骨鉄筋コンクリート造	・																																														
2	PCカーテンウォール	<p>設計図書による規定の他、特記なき事項は (社) 日本建築学会 JASS14 による。 (17.3.2)</p> <p>コンクリートの種類及び品質</p> <p>※ 標仕17.3.21による</p> <p>・ 下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.21による。 (17.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>設計基準強度 (F_o)</th> <th>スランプ (cm)</th> </tr> <tr> <td>鉄 筋</td> <td>※ SD295A</td> <td></td> </tr> </table>	コンクリートの種類	設計基準強度 (F _o)	スランプ (cm)	鉄 筋	※ SD295A																																								
コンクリートの種類	設計基準強度 (F _o)	スランプ (cm)																																													
鉄 筋	※ SD295A																																														

取付け用金物の表面処理 (鉄の亜鉛めっき) 及び材質 (14.2.3)(表14.2.2)		
金物種類及び部位	内 部	外 部
P C 板 打 込 み 金 物	※ E種 ・	※ A種 ・
P C 板打込み取付けボルト	※ E種 ・	※ ステンレスボルト
2 次 フ ァ ス ナ ー	※ E種 ・	※ A種 ・
取 付 け ボ ル ト	※ E種 ・	※ A種 ・
レ ベ ル 調 整 ボ ル ト	※ E種 ・	※ A種 ・
	・	・

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

シーリング材料

下記以外は標仕表9.6.11による (9.6.2)(17.3.2)(表9.6.1)

施 工 箇 所	記 号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

断熱材 ※ 適用しない

・ 適用する (種類: 厚さ(mm) 施工箇所: 図示)

製品の寸法許容差 ※ 標仕表17.3.11による (17.3.3)(表17.3.1)

・ 製造所標準製作規定寸法許容差による

表面仕上げ ()

耐火材料

施 工 部 位	種 別	規 格 等
・ ファスナー部		
・ 取付けブラケット		
・ パネル目地部		
・ 層 間 ふ さ ぎ		

耐風圧性能 (17.1.3)

性能値 ※ 建築基準法施行令第7条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。

・ 正圧 N/m²以上及び負圧 N/m²以上に対して安全であること。

耐震性能 (17.1.3)

設計用震度 水平方向(K_v) ※ 1.0 ・
垂直方向(K_v) ※ 0.5

建物の構造種別	層間変位量 (=支点間距離)	状 態
鉄 骨 造	※ ± (1/100) × h 以上	※部材が損傷せず、破損脱落もしない。
鉄筋コンクリート造	※ ± (1/200) × h 以上	ガラス等の破損もない
鉄骨鉄筋コンクリート造	・	シーリングは補修程度

19	1 接着剤	<p>壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量</p> <p>※規制対象外 ・ 第三種 (19.2.2)(表19.3.3)</p> <p>※接着剤に含まれる可塑剤は、難燃性のものとする</p>																
	2 ビニル床シート張り	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>JISの記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>※ 発泡層のないもの</td> <td>※ NC</td> <td>※ 無地 ・ マーブル柄</td> <td>※ 2.5</td> </tr> <tr> <td>・ 発泡層のあるもの</td> <td></td> <td>※ 柄物 ・ 無地</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>工 法 ※ 熱溶接工法 ・ 突付け (施工箇所) (19.2.3)</p>	種 類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)	※ 発泡層のないもの	※ NC	※ 無地 ・ マーブル柄	※ 2.5	・ 発泡層のあるもの		※ 柄物 ・ 無地		・			
種 類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)															
※ 発泡層のないもの	※ NC	※ 無地 ・ マーブル柄	※ 2.5															
・ 発泡層のあるもの		※ 柄物 ・ 無地																
・																		
3	ビニル床タイル張り	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>JISの記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ コンポジションビニル床タイル (半硬質)</td> <td>CT</td> <td>※ 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンポジションビニル床タイル (軟質)</td> <td>CTS</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ホモジニアスピニル床タイル</td> <td>HT</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table>		JISの記号	厚さ(mm)	備 考	※ コンポジションビニル床タイル (半硬質)	CT	※ 2		・ コンポジションビニル床タイル (軟質)	CTS	・		・ ホモジニアスピニル床タイル	HT	・	
	JISの記号	厚さ(mm)	備 考															
※ コンポジションビニル床タイル (半硬質)	CT	※ 2																
・ コンポジションビニル床タイル (軟質)	CTS	・																
・ ホモジニアスピニル床タイル	HT	・																
4	帯電防止床材張り	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>性 能</th> </tr> <tr> <td>・ コンポジションビニル床タイル</td> <td>※ 2</td> <td>体積抵抗値 (JIS K6911による)</td> </tr> <tr> <td>・ ホモジニアスピニル床タイル</td> <td>※ 4.0又は4.5</td> <td>1.0×10¹⁰Ω以下、または、</td> </tr> <tr> <td>・ NC</td> <td>・</td> <td>漏えい抵抗値 (JIS A1454による)</td> </tr> <tr> <td>・ シート</td> <td>・</td> <td>1.0×10¹⁰ Ω未満</td> </tr> </table>	種 類	厚さ(mm)	性 能	・ コンポジションビニル床タイル	※ 2	体積抵抗値 (JIS K6911による)	・ ホモジニアスピニル床タイル	※ 4.0又は4.5	1.0×10 ¹⁰ Ω以下、または、	・ NC	・	漏えい抵抗値 (JIS A1454による)	・ シート	・	1.0×10 ¹⁰ Ω未満	
種 類	厚さ(mm)	性 能																
・ コンポジションビニル床タイル	※ 2	体積抵抗値 (JIS K6911による)																
・ ホモジニアスピニル床タイル	※ 4.0又は4.5	1.0×10 ¹⁰ Ω以下、または、																
・ NC	・	漏えい抵抗値 (JIS A1454による)																
・ シート	・	1.0×10 ¹⁰ Ω未満																

18	1 材 料	<p>建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 (18.1.3)</p> <p>※規制対象外 ・ 第三種</p>																												
	2 素 地 こ し ら え	<p>(表18.2.1~表18.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>素 地</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>・ 木 部</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄 鋼 面</td> <td>・ A種 ・ B種 ※ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ モルタル及びプラスチック面</td> <td>・ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート及びALCパネル面</td> <td>・ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート及び押出成形セメント板面</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 石膏ボード及びその他ボード面</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> </table>	素 地	種 別	・ 木 部	・ A種 ・ B種	・ 鉄 鋼 面	・ A種 ・ B種 ※ C種	・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ モルタル及びプラスチック面	・ A種 ※ B種	・ コンクリート及びALCパネル面	・ A種 ※ B種	・ コンクリート及び押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種	・ 石膏ボード及びその他ボード面	・ A種 ・ B種												
素 地	種 別																													
・ 木 部	・ A種 ・ B種																													
・ 鉄 鋼 面	・ A種 ・ B種 ※ C種																													
・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																													
・ モルタル及びプラスチック面	・ A種 ※ B種																													
・ コンクリート及びALCパネル面	・ A種 ※ B種																													
・ コンクリート及び押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種																													
・ 石膏ボード及びその他ボード面	・ A種 ・ B種																													
3	3 錆止め塗料塗り	<p>(表18.3.1~表18.3.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>素 地</th> <th>種 別</th> <th>規 格 名 称</th> <th>種 類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 鉄 鋼 面</td> <td>・ A種</td> <td>・ 鉛丹錆止めペイント</td> <td>・ 1種 ・ 2種</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ シアナド鉛錆止めペイント</td> <td>・ 1種 ・ 2種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ B種</td> <td>・ 鉛・クロムフリー錆止めペイント</td> <td>・ 1種 ・ 2種</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>・ 一般用錆止めペイント</td> <td>・ 1種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 垂鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種</td> <td>・ 水系錆止めペイント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 船舶カルシウム錆止めペイント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>・ 変性エポキシ樹脂プライマー</td> <td></td> </tr> </table>	素 地	種 別	規 格 名 称	種 類	・ 鉄 鋼 面	・ A種	・ 鉛丹錆止めペイント	・ 1種 ・ 2種	・ B種	・ シアナド鉛錆止めペイント	・ 1種 ・ 2種	・ 亜鉛めっき鋼面	・ B種	・ 鉛・クロムフリー錆止めペイント	・ 1種 ・ 2種	・ C種	・ 一般用錆止めペイント	・ 1種	・ 垂鉛めっき鋼面	・ A種	・ 水系錆止めペイント		・ B種	・ 船舶カルシウム錆止めペイント		・ C種	・ 変性エポキシ樹脂プライマー	
素 地	種 別	規 格 名 称	種 類																											
・ 鉄 鋼 面	・ A種	・ 鉛丹錆止めペイント	・ 1種 ・ 2種																											
	・ B種	・ シアナド鉛錆止めペイント	・ 1種 ・ 2種																											
・ 亜鉛めっき鋼面	・ B種	・ 鉛・クロムフリー錆止めペイント	・ 1種 ・ 2種																											
	・ C種	・ 一般用錆止めペイント	・ 1種																											
・ 垂鉛めっき鋼面	・ A種	・ 水系錆止めペイント																												
	・ B種	・ 船舶カルシウム錆止めペイント																												
	・ C種	・ 変性エポキシ樹脂プライマー																												

19	9 合成樹脂塗り床	<p>・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) (18.4.2)</p> <p>塗料の種類 ※ 1種</p> <p>・ 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗り (18.4.2)</p> <p>・ クリヤラッカー塗り (CL) ・ A種 ※ B種 (18.5.1)</p> <p>・ フタル酸樹脂エナメル塗り (FE) (18.6.1)</p> <p>・ 木部フタル酸樹脂エナメル塗り ・ A種 ※ B種 (18.6.2)</p> <p>・ 鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼板フタル酸樹脂エナメル塗り ・ A種 ※ B種 (18.6.2)</p>
	10 フローリング張り	<p>・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) ・ A種 ※ B種 (表18.7.1)</p> <p>・ アクリル樹脂エナメル塗り (AE) ・ A種 ※ B種 (表18.8.1)</p> <p>・ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) ・ A種 ※ B種 (表18.12.1)</p> <p>・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) ・ A種 ※ B種 (表18.13.1)</p> <p>・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T) ・ A種 ※ B種 (表18.14.1)</p> <p>・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ・ A種 ※ B種 (表18.15.1)</p> <p>・ オイルステイン塗り (OS) (表18.16.1)</p> <p>・ マステック塗材塗り (表18.18.1)</p> <p>凸面仕上げ ・ あり ・ なし</p> <p>仕上げ ・ アクリル樹脂エナメル2回塗り</p> <p>・ つや有合成樹脂エマルジョンペイント2回塗り</p>

5	5 床用塗料塗り	<p>・ 鉄鋼面つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り ・ A種 ・ B種</p> <p>・ 木材保護塗料</p> <p>・ 水性ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</p> <p>・ 水性アクリル樹脂塗り (MAP)</p> <p>・ 水性アクリル樹脂塗り (MAP)</p> <p>・ 高耐候性塗装 D P (1級) : 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗 (2-FUE)</p>
	6 6 防塵用塗料塗り	<p>材 質 ウレタン樹脂系塗料 (※ 標準色 ・)</p> <p>仕上種別 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ</p> <p>塗 布 量 プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m²以上とする。</p>
7	7 水性塗装容器	<p>材 質 水性アクリル系樹脂塗料 (※ 標準色 ・)</p> <p>仕上種別 コーティング (ローラー刷毛塗り)</p> <p>塗 布 量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m²以上とする。</p> <p>北海道認定リサイクル製品 水性塗料入り段ボール箱オミリーパック同等品以上を使用すること。</p>

19	1 接着剤	<p>壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量</p> <p>※規制対象外 ・ 第三種 (19.2.2)(表19.3.3)</p> <p>※接着剤に含まれる可塑剤は、難燃性のものとする</p>
	2	2
3	3	3
4	4	4

19	5 視覚障害者用床タイル張り	<p>種 類 (・ 塩化ビニル系 ・ リンゴカク系 ・ 磁器質系) (19.2.2)</p> <p>形状・厚さ ()</p>
	6	6
7	7	7
8	8	8

19	9 合成樹脂塗り床	<p>・ 機じゆうたん (19.3.3~4)(表19.3.1~2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>バ イ ル 形 状</th> <th>帯電性</th> <th>色 柄 等</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ カットバイル</td> <td>人体帯電圧</td> <td>※ 単一色 (無地)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ ルーフバイル</td> <td>※ 3kV以下</td> <td>・ 柄物 (標準品)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>・ カット、ルーフバイル併用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ タフテッドカーベット (19.3.3~4)(表19.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>バ イ ル 形 状</th> <th>バ イ ル 長 (mm)</th> <th>工 法</th> <th>帯 電 性</th> </tr> <tr> <td>・ カットバイル</td> <td>※ 5~7</td> <td rowspan="3">※ 全面接着工法 ・ クリッパー工法</td> <td rowspan="3">人体帯電圧</td> </tr> <tr> <td>・ ルーフバイル</td> <td>※ 4~6</td> </tr> <tr> <td>・ レベルルーフバイル</td> <td>※ 4</td> </tr> <tr> <td>・ カット、ルーフ併用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>タイルカーベット (19.3.3)(表19.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>バ イ ル 形 状</th> <th>寸法</th> <th>総厚 (mm)</th> <th>耐電圧</th> </tr> <tr> <td>※ 第一種</td> <td>※ ルーフバイル</td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td>人体耐電圧3kV以下(ワット70F敷設範囲)</td> </tr> <tr> <td>・ 第二種</td> <td>・ カットバイル ・ カット、ルーフ併用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>(19.4.2)(表19.4.1~7)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>仕 上 げ の 種 類</th> </tr> <tr> <td>・ 弾性ウレタン塗り床材</td> <td>※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 珪矽樹脂塗床材</td> <td>※ 薄膜流し展べ仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・ 厚膜流し展べ仕上げ (※ 平滑 ・ 防汚)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 樹脂モルタル仕上げ (※ 平滑 ・ 防汚)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 防汚仕上げ</td> </tr> </table> <p>ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 第三種 (19.5.2~7)(表19.5.1~4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>樹 種</th> <th>工 法</th> <th>仕 上 げ 塗 装 等</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ 天然木化粧合ワリ材</td> <td>※ なら ・ ひのき</td> <td>※ 釘止め工法 (C種)</td> <td>※ 塗装品 ・ 無塗装品</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 第三種 (19.6.2)(表19.6.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>下 地 の 種 類</th> <th>畳 の 種 別</th> </tr> <tr> <td>標仕表12.5.11による床組</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (・ KT-I ・ KT-II ※ KT-III)</td> </tr> <tr> <td>ポリスチレンフォーム床下地</td> <td>・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 (・ KT-I ・ KT-II ※ KT-III)</td> </tr> <tr> <td>畳表及び畳床はVOC含有量の少ない物とする。</td> <td></td> </tr> </table>	種別	バ イ ル 形 状	帯電性	色 柄 等	備 考	・ A種	・ カットバイル	人体帯電圧	※ 単一色 (無地)		・ B種	・ ルーフバイル	※ 3kV以下	・ 柄物 (標準品)		・ C種	・ カット、ルーフバイル併用	・	・		バ イ ル 形 状	バ イ ル 長 (mm)	工 法	帯 電 性	・ カットバイル	※ 5~7	※ 全面接着工法 ・ クリッパー工法	人体帯電圧	・ ルーフバイル	※ 4~6	・ レベルルーフバイル	※ 4	・ カット、ルーフ併用	・	・	・	種 別	バ イ ル 形 状	寸法	総厚 (mm)	耐電圧	※ 第一種	※ ルーフバイル	※500×500	※6.5	人体耐電圧3kV以下(ワット70F敷設範囲)	・ 第二種	・ カットバイル ・ カット、ルーフ併用	・	・	・	種 別	仕 上 げ の 種 類	・ 弾性ウレタン塗り床材	※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ	・ 珪矽樹脂塗床材	※ 薄膜流し展べ仕上げ	・ 厚膜流し展べ仕上げ (※ 平滑 ・ 防汚)		・ 樹脂モルタル仕上げ (※ 平滑 ・ 防汚)		・ 防汚仕上げ	種 別	樹 種	工 法	仕 上 げ 塗 装 等	備 考	※ 天然木化粧合ワリ材	※ なら ・ ひのき	※ 釘止め工法 (C種)	※ 塗装品 ・ 無塗装品		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	下 地 の 種 類	畳 の 種 別	標仕表12.5.11による床組	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (・ KT-I ・ KT-II ※ KT-III)	ポリスチレンフォーム床下地	・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 (・ KT-I ・ KT-II ※ KT-III)	畳表及び畳床はVOC含有量の少ない物とする。	
	種別	バ イ ル 形 状	帯電性	色 柄 等	備 考																																																																																												
・ A種	・ カットバイル	人体帯電圧	※ 単一色 (無地)																																																																																														
・ B種	・ ルーフバイル	※ 3kV以下	・ 柄物 (標準品)																																																																																														
・ C種	・ カット、ルーフバイル併用	・	・																																																																																														
バ イ ル 形 状	バ イ ル 長 (mm)	工 法	帯 電 性																																																																																														
・ カットバイル	※ 5~7	※ 全面接着工法 ・ クリッパー工法	人体帯電圧																																																																																														
・ ルーフバイル	※ 4~6																																																																																																
・ レベルルーフバイル	※ 4																																																																																																
・ カット、ルーフ併用	・	・	・																																																																																														
種 別	バ イ ル 形 状	寸法	総厚 (mm)	耐電圧																																																																																													
※ 第一種	※ ルーフバイル	※500×500	※6.5	人体耐電圧3kV以下(ワット70F敷設範囲)																																																																																													
・ 第二種	・ カットバイル ・ カット、ルーフ併用	・	・	・																																																																																													
種 別	仕 上 げ の 種 類																																																																																																
・ 弾性ウレタン塗り床材	※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ																																																																																																
・ 珪矽樹脂塗床材	※ 薄膜流し展べ仕上げ																																																																																																
	・ 厚膜流し展べ仕上げ (※ 平滑 ・ 防汚)																																																																																																
	・ 樹脂モルタル仕上げ (※ 平滑 ・ 防汚)																																																																																																
	・ 防汚仕上げ																																																																																																
種 別	樹 種	工 法	仕 上 げ 塗 装 等	備 考																																																																																													
※ 天然木化粧合ワリ材	※ なら ・ ひのき	※ 釘止め工法 (C種)	※ 塗装品 ・ 無塗装品																																																																																														
・	・	・	・	・																																																																																													
・	・	・	・	・																																																																																													
・	・	・	・	・																																																																																													
下 地 の 種 類	畳 の 種 別																																																																																																
標仕表12.5.11による床組	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (・ KT-I ・ KT-II ※ KT-III)																																																																																																
ポリスチレンフォーム床下地	・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 (・ KT-I ・ KT-II ※ KT-III)																																																																																																
畳表及び畳床はVOC含有量の少ない物とする。																																																																																																	
11	11 畳 敷 き	<p>畳 の 種 別 (19.6.2)(表19.6.1)</p>																																																																																															

12	12 ポリスチレンフォーム床下地材	<p>畳 下 地 厚さ(mm) ※ 40 ・ 65 ・ 80</p> <p>フローリング類 厚さ(mm) ※ 80 ・ 95 (19.7.2)(表19.7.1)</p>
	13	13
14	14	14

14	14 吸音材	<p>合板類・繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量</p> <p>※ 規制対象外 ・ 第三種</p> <p>軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材</p> <p>※ 適用する ・ 適用しない (表19.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>JISの記号</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ ロックウール吸音ボード1号</td> <td>RW-B</td> <td>※ 25</td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール吸音ボード32K</td> <td>GW-B</td> <td>※ 25 ・ 50 ・ 100(50+50)</td> </tr> </table> <p>ボードの表面 ガラスクロス繊維張り (100g/m²)</p> <p>チャンセル室内は、外部用撥水仕様とする</p> <p>留付工法 ※ インサールピン留め化粧ワッシャー押え</p> <p>・ 樹脂製断熱ピン接着留め (断熱材施工面)</p> <p>・ 見切りジョイナー 巾木・出隅・ドア枠廻り</p> <p>厚さ100の見切は特記無き限り巻込みとする。</p>	種 類	JISの記号	厚さ(mm)	・ ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※ 25	・ グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※ 25 ・ 50 ・ 100(50+50)
	種 類	JISの記号	厚さ(mm)								
・ ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※ 25									
・ グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※ 25 ・ 50 ・ 100(50+50)									
15	15										
16	16										
17	17										
18	18										

15	15 合板類の材料	<p>合板類のJASで定めるホルムアルデヒドの放散量の等級 ※ F規制対象外 ・ 第三種 (19.7.2)</p>
	16	16
17	17	17
18	18	18

19	19 断熱材	<p>(表18.2.4)(表18.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>施 工 箇 所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>品 質 等</th> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム保温暖板 (スキム層付)</td> <td>※ 2種 b</td> <td>※ 一般部</td> <td>・ 40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 3種 b</td> <td>・ 接地部分</td> <td>・ 50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 現場発泡断熱材</td> <td>※ 断熱材補修部分</td> <td>特定フロンを使用しないもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 一般部</td> <td>※ 15</td> <td>難燃性 ※ 3級 ・ 2級</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>※ 30</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>製造所 性能の確認出来る資料を監督員に提出する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 断熱材兼用型枠</td> <td>・ 木質系</td> <td>※ 壁 (図示の範囲)</td> <td>※40以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ コンクリート系</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ プラスチック系</td> <td>製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 補強材付断熱材</td> <td>※ 壁 (図示の範囲)</td> <td>※ 50</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 屋根</td> <td>・ 75</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 第三種</p> <p>・ PF複合板 (ポリスチレンフォーム保温暖板 A40又はB0+フレキシブルボード A6)</p>	種 類	施 工 箇 所	厚さ(mm)	品 質 等	・ 押出法ポリスチレンフォーム保温暖板 (スキム層付)	※ 2種 b	※ 一般部	・ 40		・ 3種 b	・ 接地部分	・ 50		・	・	・	・ 現場発泡断熱材	※ 断熱材補修部分	特定フロンを使用しないもの			・ 一般部	※ 15	難燃性 ※ 3級 ・ 2級		・	※ 30			製造所 性能の確認出来る資料を監督員に提出する			・ 断熱材兼用型枠	・ 木質系	※ 壁 (図示の範囲)	※40以下		・ コンクリート系	・	・		・ プラスチック系	製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの	・	・ 補強材付断熱材	※ 壁 (図示の範囲)	※ 50	・		・ 屋根	・ 75	・		製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		
	種 類	施 工 箇 所	厚さ(mm)	品 質 等																																																						
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温暖板 (スキム層付)	※ 2種 b	※ 一般部	・ 40																																																							
	・ 3種 b	・ 接地部分	・ 50																																																							
	・	・	・																																																							
・ 現場発泡断熱材	※ 断熱材補修部分	特定フロンを使用しないもの																																																								
	・ 一般部	※ 15	難燃性 ※ 3級 ・ 2級																																																							
	・	※ 30																																																								
	製造所 性能の確認出来る資料を監督員に提出する																																																									
・ 断熱材兼用型枠	・ 木質系	※ 壁 (図示の範囲)	※40以下																																																							
	・ コンクリート系	・	・																																																							
	・ プラスチック系	製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの	・																																																							
・ 補強材付断熱材	※ 壁 (図示の範囲)	※ 50	・																																																							
	・ 屋根	・ 75	・																																																							
	製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの																																																									
11	11	11																																																								

別紙 - 19

年 度	平 成 年 度
工 事 名	愛国浄水場更新事業
図 面 名	特記仕様書(3)
縮 尺	NONE SCALE 図面番号
設計年月日	平 成 年 月 日
釧路市上下水道部水道整備課	

20 浴室天井材
①フリーアクセスフロア
②可動間仕切
3 移動間仕切
④トレイブース
⑤階段滑止め
⑥階段手すり
7 黒板及びホワイトボード
⑧鏡
9 表示標識
⑩・煙突成形材
・キャスタブル耐火材
⑪ブラインド
12 ロールスクリーン
13 カーテン

市販品	材質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	備考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	※アルマイト処理品	準不燃品	※200 ・100	回り縁は、樋付きとし、製造所の標準品とする
・硬質塩ビ製	※塗装品 ・木目調			※300 ・100	

施工箇所	構法	仕上り高(mm)	通用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット

5,000Nについては、平成元年建設省告示第132号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価したものを又は同等品とする。

表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による。
スロープ及びボデー ※製造所の標準仕様 示
コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様(コンセント本体は別途設備工事)
配線用取り出しパネル
配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20～30パーセント
空調用吹き出しパネル
あり(※固定式・可変式 施工箇所は図示)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
※パネル式 ・スタッ式 ・スタッパネル式	・	※鋼板 (※0.6・0.8)	※メラミン樹脂 又はアクリル樹脂焼付け	・あり () ○なし	○あり ・なし

品 質 JIS A6512によるもの

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ (36db以上)		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による。
遮音性能はJISA6512の遮音試験に準拠する。

表面仕上げ材	※メラミン樹脂系化粧板(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板	(20.2.5)
--------	---	----------

足形状 ※幅木型 定金物型

材 種	ステンレスSUS304	(20.2.6)
形 状	ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド ※あり(・ステンレス製 ※ビニル製) ・なし	
幅(mm)	約35	
取付け工法	※接着工法 ○埋込み工法	

種 別	施 工 箇 所
※ 集成材クリアラッカー仕上げ (市販品 径 約45mm)	
・ビニル製ハンドレール(幅 50mm)	

種 類	寸法(mm)	色 彩	備 考
・黒板	※焼付け	※緑・黒	※平面・曲面・スラン付引分
・ホワイトボード	※ほうろう	※白	※平面・曲面・スラン付引分

厚さ(mm)	※5	寸法(mm)	・図示	(20.2.9)
--------	----	--------	-----	----------

衝突防止表示	※図示(市販品 ※ステンレス製径約30mm (・両面・片面) ・なし	(20.2.10)
--------	--	-----------

表示標識・案内用記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

最高使用温度	※650℃	・400℃	(20.2.11)
--------	-------	-------	-----------

工 法	※こて押さえ	(20.2.11)	
最高使用温度	※400℃		

形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
・横型	※ギア式 ・コード式	※アルミニウム合金製	※25
・縦型	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

防火性能	※有り	(20.2.13)
------	-----	-----------

施 工 箇 所	形 式	備 考	
	電動	手引	

施 工 箇 所	形 式	装 置	ひだの種類	性 能	備 考
	片引引分	電動	手引		
	・	・	・		
	・	・	・		

14 カーテンレール	材 種 ※アルミニウム製 形式 ・片引き ・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)	(20.2.14)
------------	---	-----------

15 ブラインドボックス 及びカーテンボックス	・市販品(アルミニウム製 押出し型材) 溝幅×深さ(mm) ※90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・色彩 ※B-1 ・B-2(※ブラウン ・ブラック ・ステンカラー) ・図示	
----------------------------	--	--

⑬耐震スリット		
---------	--	--

17止 水 板		
---------	--	--

⑬天 井 点 検 口		
------------	--	--

19床 点 検 口		
-----------	--	--

20 鋼製書架及び物品棚	材 質 アルミニウム製(※額縁タイプ ・ 目地タイプ)	
--------------	-----------------------------	--

⑳鍵 箱		
------	--	--

22くつふきマット		
-----------	--	--

㉑流し台ユニット	種 類 規 格 等 耐荷重による種類 ・鋼製書架 JIS S1039の規格による 水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ ・鋼製物品棚 JIS S1040の規格による ※1種 ・2種 ・3種	
----------	--	--

㉒屋 内 掲 示 板		
------------	--	--

㉓洗面カウンター		
----------	--	--

㉔防 煙 垂 れ 壁		
------------	--	--

㉕視覚障害者用床タイル (誘導用及び 注意喚起用床材)	材 種 ・メラミン樹脂化粧板張(心材：集成材) ・人工大理石(仕様 ※図示) 奥行き(mm) ・約450 ・約600	
-----------------------------------	---	--

28敷地境界石	・固定式	
---------	------	--

29旗 竿	材 質 ※アルミニウム合金製 形 式 ※テーパー型 ・同一断面型 地上高さ(m) ・6 ・8 ・10 ・12 操作方法 ※ハンドル式 ・ロープ式 固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・ハンド式 製造所	
-------	---	--

30旗竿受金物		
---------	--	--

31フェンス	・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス	指針(20.5.1)
--------	--	------------

32屋外掲示板	照明器具 ※あり ・なし 施 錠 ※あり ・なし 製造所	
---------	------------------------------------	--

33車止め支柱	ステンレス製(上下式額内蔵型) 径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm ※スプリング付 ・スプリングなし	(12.2.2)(19.7.2)
---------	---	------------------

㉔製作及び既製家具類		
------------	--	--

㉕エキスパンジョン ・ジョイント金物	材 質 ※アルミ ・ステンレス クリアランス ・50 ・100 ・150 耐火性能 ・あり() ・なし 防水型 ※適用する ・適用しない	
-----------------------	--	--

㉖鋼鉄製マンホール		
-----------	--	--

1 排水 管
2 排水 枘 及 び 蓋
3 埋 戻 し 土
4 浸透管及び浸透枘
21 排水 工 事
22 舗 装 工 事

1 排水 管	排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)
	材 種 管 の 種 類 管形状(接合方法)
	※ 遠心力鉄筋コンクリート管 ※ 外圧管(※1種 ・2種) B形(ゴム接合)
	・硬質塩化ビニル管 ※ VP ・ VU
	・排水用硬質塩化ビニル管 ・REP-VU G

2 排水 枘 及 び 蓋	車道部の排水管の敷設 ※図示 (21.3.1)(21.3.3) ・砂基礎(地床厚さ200mm以上 材料 山砂の類)
--------------	--

	鋼鉄製マンホール蓋 (21.2.2)
	種 類 適用 荷 重
	・水封形 ・密閉形(テーパー・パッキン式) ・T-2用
	・簡易気密形(パッキン式) ・中蓋密閉形 ・T-6用
	・浮上防止デザイン形 ・T-14用 ・T-25用

	グレーチング蓋 (21.2.2)
	材 質 形 式 種類 適用 荷 重 ｼｬｰﾍﾞｰｼﾞ 上面形状
	・鋼製 ※ 受枠付き ・溝蓋用 ・歩行用 ※ 鋼目 ※ 凹凸形
	・ステンレス製 ボルト固定 ・嵩上げ用 ・T-6用 ※ 普通目 ※ 平面形 ※ 無し ・U字溝用 ・T-14用 ・鋼目 ・凹凸形 ・図示 ・T-20用

3 埋 戻 し 土	※B種 (21.2.3)(表2.1.1)
-----------	----------------------

4 浸透管及び浸透枘		
------------	--	--

1 盛土に用いる材料	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)(表3.2.1)
------------	----------------------------------

2 遮 断 層 及 び 凍上抑制層の材料	・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 (22.2.2~3) ・凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン 切込砂利 ・砂 厚さは図示
-------------------------	--

3 路 床 安 定 処 理	※ 添加材料による安定処理 (22.2.2~3)(表22.2.3) 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 kg/m ³ (目標ORR ※5以上)
---------------	--

4 路床土の支持力比試験	※ 行う(※ 乱した土 ・ 乱さない土) (22.2.5)
--------------	-------------------------------

5 路床締固め度の試験	※ 行う (22.2.5)
-------------	---------------

6 路盤材料 G	※ 再生クラッシュラン(RC-40) (22.3.3)(表22.3.3) ・クラッシュラン(0-40)又はクラッシュランスラグ(0S-40) 透水性アスファルト舗装に用いる場合は透水性の高いもの
----------	---

7 アスファルト舗装	・歩道撤去部断面形復旧とし、仕様は図示による。 (22.4.2)(表22.4.1)
------------	---

	舗装の種類 車道部の基層 カラー舗装の種類
	※アスファルト舗装 ※なし ・あり ※ 顔料混入加熱アスファルト混合物
	・カラー舗装 ※なし ・あり
	カラー舗装の着色骨材 ・着色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)
	アスファルト ※再生アスファルト G ・ストレートアスファルト (22.4.3)
	加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6)
	区 分 ・一般地域 ・寒冷地域
	表 層 ※密粒度アスファルト混合物(13) ※密粒度アスファルト混合物(13F)
	・細粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)
	基 層 ・粗粒度アスファルト混合物(20)
	シールコート ※行わない ・行う(施工範囲：) (22.4.5)
	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)

8 コンクリート舗装	早強セメント ※ 使用しない ・使用する (22.5.3) 注入材料 ※ 低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.3) 溶接金網 ※ あり ・なし (22.5.3~4) 厚さ試験 ※ 行わない ・行う (22.5.6)
------------	--

9 透 水 性 舗 装	アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ・行う (22.6.6)(22.4.6)
-------------	--

10 排 水 性 舗 装	アスファルト混合物 (22.7.3)(表22.7.2)
	※ 改質アスファルトⅠ型 ・改質アスファルトⅡ型
	タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.7.3)(表22.7.3)
	適用時期 種 類
	下記以外 PKR-T1
	冬期 PKR-T2
	アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ・行う (22.7.6)

11 ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装 (22.8.2~3)
	種 類 寸法(mm) 厚さ(mm) 目 地 材
	※ 普通平板(N) ・ カラー平板(C) ※ 300角 ※ 60 ※ 砂
	・ 洗出平板(W) ・ 擬石平板(S) ・ モルタル
	・ インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.3)
	種 類 厚 さ (mm) 色 彩 及 び 表 面 加 工 等
	※ 標準ブロック 車道部 ※ 80 ・ ※ 標準品
	・ 透水性ブロック 歩道部 ※ 60 ・ ・
	・ 誘導、注意喚起用ブロック
	・ 植生ブロック ※ 80 ・ 100 誘導、注意喚起用は黄色とする

12 路面表示用塗料
23 植 裁 工 事

	・ インターロッキングブロック
	項目 品 質 ・ 性 能
材	セメント JIS R 5210(※科ラド)材、JIS R 5211高路材、JIS R 5212(特付材)、JIS R 5213(特付材)、白色科ラド)材とする
料	骨材 清浄、強硬、耐久性に適當な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片 細長の石片を含んでいない。
	混和材料 インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。
	着色材料 無機質材料を用い耐候性に優れかつインターロッキングブロックの品質 及び環境上有害な影響を及ぼさない。
	外 観 使用上有害なキズ、ひび割れ、欠け、変形等がない。
	寸法許容差(mm) 長さ 幅 厚さ
	普通タイプ ± 3 ± 3 ± 3
	透水性タイプ ± 3 ± 3 +5~1

植生用タイプ	± 3	± 3	± 3
--------	-----	-----	-----

曲げ強度 (N/mm)	普通タイプ	5.0以上
	透水性タイプ	3.0以上
	植生用タイプ	4.0以上

透水係数(cm/sec)	透水性タイプ	1×10 ⁻² 以上
--------------	--------	-----------------------

圧縮強度 (N/mm)	普通タイプ	3.2.0以上
	透水性タイプ	1.7.0以上

・ 舗石舗装 (22.8.2~3)
種 類 厚 さ (mm) 施 工 方 法 基 層
※ 小舗石(花崗岩) ※ 80~100 ・ ※ うろこ張り ※ コンクリート舗装 ・ ※ アスファルト舗装

JIS K 5665(路面表示用塗料)による (22.8.2~3)			
種 類 施 工 適 用 色 幅 (mm) 布厚 (mm) 揮発性有機溶剤の含有率			
・1種[G] 常温 液状 ※白 ※150 ※1.0 塗装総質量に対して5%以下			
・1種[G] 加熱			
・3種I号 熔融 粉体状			

1 樹木の植栽整定整備	芝及び地被類 (23.2.2~3)(表23.2.1~2)
	適 用 有効土層の厚さ(cm) 工 法 整 備 範 囲
	※ 行う ・ 行わない ※ 20 ・ ※ B種 ・ ※ 植栽範囲 ・ 図示

樹 木 (21.2.2~3)(表21.2.1~2)
樹木の樹高(m) 有効土層の厚さ(cm) 工 法 整 備 範 囲
・12以上 ※100 ・ ※A種 ・葉張りの範囲
・7超~12未満 ※80 ・ ※B種
・3超~7以下 ※60 ・ ※C種
・3以下 ※50 ・ ※D種

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

2 植 込 み 用 土	※ 現場発生土の良質土 ・ 客土(※ 畑土 ・ 黒土) (23.3.2)
-------------	--------------------------------------

3 土 壌 改 良 材	※ 適用する (23.2.3~4) 施工箇所 ※ 植栽範囲 ・ 図示
-------------	---------------------------------------

パークたい肥	有機物の含有量(乾物) : 7.0%以上 炭素窒素比(C/N比) : 3.5以下 陽イオン交換容量(乾物) : 7.0meq/100g以上 PH : 5.5~7.5 水分 : 5.5~6.5% 幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常を認めない 窒素全量(現物) : 0.5%以上 りん酸全量(現物) : 0.2%以上 加里全量(現物) : 0.1%以上
--------	--

発酵下水汚泥コンポスト	「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適用する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする。 ひ素 : 0.005%以下 カドミウム : 0.0005%以下 水銀 : 0.0002%以下 ニッケル : 0.03%以下 クロム : 0.05%以下 鉛 : 0.01%以下 有機物含有量(乾物) : 3.5%以上 炭素窒素比(C/N比) : 2.0以下 PH : 8.5以下 水分 : 5.0%以上 窒素全量(現物) : 0.8%以上 りん酸全量(現物) : 1.0%以上 アルカリ分(現物) : 1.5%以下
-------------	---

4 支 柱 材	※ 杉の焼丸太(間伐材) ・ 真竹 (23.3.2)
---------	----------------------------

5 幹 巻 き 用 材 料	※ 幹巻き用テープ ・ わら及びこも (23.3.2)
---------------	-----------------------------

6 芝 張 り	種 類 ※ ころい芝 ・ 野芝 (23.4.2)
---------	--------------------------

7 種 子 散 布 工	※ 廣植酸種子散布工
-------------	------------

別紙 - 19

年 度	平 成 年 度
工 事 名	愛国浄水場更新事業
図 面 名	特記仕様書(4)
縮 尺	NONE SCALE 図面番号
設計年月日	平 成 年 月 日
釧路市上下水道部水道整備課	